

Table with 4 columns: 事務事業名 (図書館総務管理事業), 所属部 (教育委員会), 所属課 (社会教育課), 政策名 (IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>, 所属G (社会教育G), 課長名 (奥井雅司), 施策名 (27)生涯学習の推進, 担当者名 (三島祐一), 電話番号 (0854-40-1073), 基本事業名 (081)学習環境の充実, 予算科目 (会計: 015002, 款: 2501, 目: 252501), 目的: 生涯を通じて自ら学び、人生を豊かにする。 / 充実した施設・設備を利用する。

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

Table for (1) 事業概要. Includes ① 事業期間 (単年度のみ, 単年度繰返), ② 事業内容 (市立図書館, 図書業務委託, 雲南へ業務委託, 雲南市図書館協議会).

(2) 事務事業の手段・指標

Table for (2) 事務事業の手段・指標. Includes ① 主な活動 (R2年度実績, R3年度計画), ② 活動指標 (支出件数, 協議会の開催回数, etc.).

(3) 事務事業の目的・指標

Table for (3) 事務事業の目的・指標. Includes ① 対象 (誰、何を対象にしているのか), ② 意図 (対象がどのような状態になるのか), ③ 対象指標, ④ 成果指標.

(4) 事務事業のコスト

Table for (4) 事務事業のコスト. Includes ① 事業費の内訳 (報酬, 旅費, 需用費, etc.), ② コストの推移 (国庫支出金, 県支出金, etc.).

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table for (5) 事務事業の環境変化、住民意見等. Includes ① 環境変化 (地域を支える情報拠点), ② 改革改善の経緯 (大東: H29年度からH30年度), ③ 関係者からの意見・要望 (永井隆記念館図書室).

事務事業名	図書館総務管理事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・学校教育との連携・協力や各種団体や公共施設、図書館・図書室間の更なる連携により相乗効果を発揮することも可能である。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 →	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	図書館施設に関しては、他に類似する施設がないため事業の統廃合は難しい。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	H23年度より業務委託をしており、必要な人員についても精査しているため、これ以上の人件費の削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	・大東、加茂、木次の市立図書館3館については、H23年度より株式会社キラキラ雲南への業務委託に移行した。図書館以外の返却場所を設置する等サービスの向上や、図書館相互での圖書のやり取りなど、3館の連携が進められてきた。また、よみかたりなど委託先が行う他の事業と連携した活動もある。 ・吉田図書室および掛合図書センターについても、地域自主組織によって適切な施設運営がなされている。
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>・(株)キラキラ雲南への業務委託により、専門性の高い職員による安定的で柔軟なサービスの提供が可能となっている。また、3年間の業務委託とすることで、長期的な視点を持った図書館運営が期待される。</p> <p>・雲南市の図書館行政と民間業者による管理運営ノウハウを相乗的に発揮することによって、ソフト・ハード両面における図書館の充実を図る。</p> <p>・永井隆記念館の施設整備に併せて図書室もリニューアルした。今後は市立図書館からの指導・助言を参考に、充実した施設運営を図る。</p> <p>・現在、新型コロナウイルス感染症対策の一環として施設の利用制限を行なっているが、適切なタイミングで制限を順次解除していく。</p> <p>・各種企画展示に取り組み、生涯学習の機会の充実や情報発信に取り組む。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						